

懇談会での意見を踏まえた大学像に関わる主な論点

大学像に関わる懇談会での主な意見

地域のことを突き詰めていくと必ず世界に通じる。地域課題は世界中に共通しているものがあり、必要なのは、現状を捉える力、分析をする力、地域の力を上手く活用する力で、地域で培われたものが世界に通用すると思うので、そうした力を身に付けることが大事である。

学生がまちに出って行ったり、地域の課題を考えたり、アクティブラーニングに力を入れるように、教育・研究も大きく変わりつつある。

オンリーワンの大学を目指すと海外から学生は集まる。

どのような社会を我々が構想するのか、どのような社会が望ましいものとして創るのかという意味で、旭川にも社会科学系や経済学系の高等教育は必要である。

デザインは創造である。

まちづくり、世の中づくりといったことを考えると、創造力と連携する力を育てていく分野というのは良いと思う。

市民の会案にある建学の精神はまさに、文科省が言うところの知識基盤社会に必要なとされる人材を育成する内容となっており、これが基本となると思う。

旭川地域に公立大学をつくるという視点が大事で、北海道の木材をどう使うか、あるいは農作物をどう高度化するかなど、地域が持っている自然環境を強く意識して考えないといけないと思う。

新しい「もの」や「こと」を世に出すことで、新しいニーズが生まれるという発想を大学で教えるということは挑戦的であるが、高校なども自分で考える力を教えるというふうに変っていく中で、その上にある大学は世の中を創造していくというところに目的を置くというのは当然だと思う。

公立大学の性質上、地域貢献も必要だが、国から交付税が入ることを考えると、国全体への貢献も考えていいと思う。

意見を踏まえた主な論点

<大学の使命>

- 地域と世界の両方の視点を持った学びの場が必要である。
- 地域の課題は世界に通じるものであり、その解決のために、現状を把握し、分析し、地域の力を活用する能力を培う場であることが必要である。
- 学問のための学問だけではなく、どのような社会が望ましいのかという視点からの実践的な学びの場であることが必要である。

<人材育成>

- 豊かな感性と創造力を培うことが必要である。
- 創造力を生かして、まちづくりや社会の課題などを解決していくための多様な力を培うことが必要である。
- 変化が激しい社会の中でもイノベーションを絶え間なく創造できる人材を育てる必要がある。

<社会貢献>

- 自然環境や産業基盤など地域特性を踏まえ、活用していくことが必要である。
- 大学の様々な活動を通じて、新たな社会的価値を創造していくという視点が必要である。